

まなびの広場  
稲進会  
教室通信

## 彩色いろいろ

## 『ルートはたくさん! ?』

僕の趣味の一つは、気ままドライブです。どんなドライブかと言うと、行先も決めず(だいたい千葉～茨城の海の方程度で)高速道路は使わずに一般道を走ります。しかも、あえて走ったことの無い道を行います。人間の脳は本当によく出来ていて、安心、安全、安定を求める脳は、意識をしないと勝手に知っている道、一度走ったことのある道を選択しています(僕だけ?)。初めての道を走っていると急に景色が開け、見渡す限り田んぼが広がる風景や、風力発電を起こす超ビッグ風車の大群に出会えたりします。逆に切り返しができない程の細い農道で行き止まり、ドキドキしながらバグで50m、なんてことになったりもします。こうした予測不能さを楽しんでいます!!



(本題はここから)

僕の愛車にはカーナビがついています!(ってほとんどの車についていますね)目的地がある時は、もちろんこのシステムを使用します。生来の方向音痴(大きなスーパーでは、だいたい出口がわからなくなります(T\_T))なため、カーナビは、ノーベル賞並の発明だと思っています。で、すごいのが、目的地を入れると、複数(6パターンほど)の行き方を提示してくれるのです!(これも普通!?)。カーナビが示してくれる複数の選択肢からルートをチョイスするときに思うことがあります。

誰かにアドバイスを求められたとき、カーナビのように複数の辿り着き方を提示はするけれども、どれを選ぶかは本人に任せる、この姿勢がとても大切なのではということです

高速道路を使うルートを選択すれば、お金はかかるけれども最短の時間で目的地にたどり着くことができます。

山道を通るルートを選択すれば、山道での運転を楽しむことができます。紅葉の時期にはその美しさを目にすることができます。日常生活では出会わない生き物と遭遇するかもしれません

海沿いを通るルートを選択すれば、潮の匂いに懐かしさを感じたり、壮大に広がる海を背景にした砂浜を見て心が癒されたりもすることでしょう。

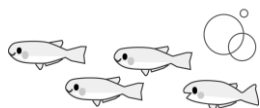
どのルートを通っても、そのルートを選んだ人しか味わえない素晴らしさがあるのです。人生も同じかなと。最短ルートが最善のルートとは限らず、遠回りしたからこそ見える風景や感じる匂いもあるのです。

この道じゃなきゃ! この道以外は×! というより、目的地にたどり着くルートはたくさんある、ということを感じてほしいことであり、また子どもたちに伝えてあげてほしいことであるとも思っています。

奥松

## 教室の風景

生きていくということ



昨年から玄関先の火鉢で飼っているメダカたちが春になって次々と産卵をはじめました。もしこれが全部孵化したら増えすぎてしまうと不安になるほどだったのですが、そんな心配はいらないとばかりに卵は大人たちに食べられてしまいました！！今まさにお腹に卵をつけて産卵中のメダカまで、その口元には卵が！目の当たりにしてみるとそれはあまりにも衝撃的な映像で、「君たちには母性ってものがないの？」と思わず突っ込んでしまうほどした。

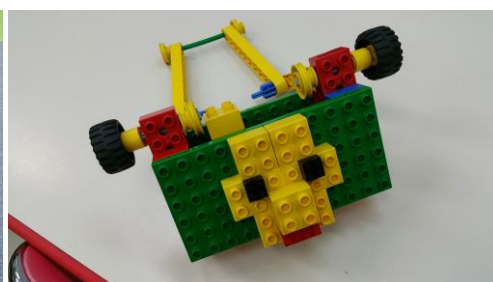
それ以降は見つけた卵を別の場所へ保護し、静かにその時を待つことにしました。すると次第に黒い点ができてきて、ついには5ミリほどの赤ちゃんメダカが誕生しました＼(^o^)/ その小さくて儂い姿を発見した時、生まれた嬉しさと同時にその小さな命を扱う責任という恐れのようなものを感じたんです。そしてこれが自然界だったなら、こんなに小さく生まれたメダカの赤ちゃんたちは一体どうやって生きていくのだろうと不思議になりました。そんなことを考えていると「ああ、だからこの子たちは外の世界に出た瞬間からスイスイと泳ぐ力が身についているんだなあ」としみじみ思いながら眺めていました。

これとは反対に、私たちは何事も生まれてから学習して身に付けていきます。それは命の危険にさらされる事がないという幸せと、分かるようになる喜び・できるようになる喜びを感じながら成長できるという特権を与られているということではないでしょうか。レゴのレッスンでも、赤ちゃんメダカを初めて見た時と同じような感情を抱くことがあります。「できた～！」というときのみんなの顔を見て、この笑顔が消えることの無いように頑張っていかなくては！と気持ちを新たにするときです。これからもその気持ちを忘れないように心がけていきたいと思っています。

インストラクター 清水倫子



## 7月作品紹介



(左)「えさを食べるワニ」

(中上)「歩道橋」

(中下)「モノレールと駅」

(右上)「おしゃれポーチ」